

多摩消防団だより

第11号
発行
平成25年1月吉日
多摩消防団広報部
印刷
井上印刷所

平成二十五年 多摩区消防出初式受賞者(敬称略)



一月十一日に開催された多摩地区消防出初式。会場だった、よみうりランドのランドドッグなど、協力団体のかわいいキャラクターたちも登場しました。



多摩消防団 団長
松澤 喜義

新年を迎え、謹んでお喜び申し上げます。昨年は各町会をはじめ、消防関係団体の皆様には大変お世話になりました。大きな火災や災害も少なく、年が明けて恒例の多摩地区消防出初式も無事に終了できました。近年、大規模地震や温暖化など、自然災害への備えが重要になっていきます。早めに訓練を積み、体験を身に付けて、少しでも被害を軽くしたいものです。本年が明るく輝かしい年でありませう、皆様の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げます。



多摩消防署 署長
石井 敏幸

消防団員の皆様には、平素より多摩区の安全と安心の確保に御尽力され、感謝と敬意を表する次第でございます。

また、消防団員の御家族の皆様におかれましても、昼夜を問わず消防団活動に励む団員の皆様に、深い御理解と御支援をいただき、お礼を申し上げます。

本年も、多摩区が安全で安心に暮らせる街となるよう、消防団と消防署が一致団結して対応する所存でございますので御協力をお願いいたします。

結びに、消防団員及び御家族皆様の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、年頭の挨拶といたします。

市長表彰

永年勤続功労消防団員

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長
生田分団 副分団長

受賞のお知らせ

平成二十四年三月八日、日本消防会館において、増田朝光副団長が、消防庁長官表彰（永年勤続功労章）を受賞されました。

消防団用機械器具等性能検査

四月二十一日、川崎市消防総合訓練場において、本年も有事に備えるため、小型動力ポンプ及び付属品、消防ホース、ポンプ積載車などの総合点検を実施しました。



辞令交付式・機動部隊旗授与



四月二十一日、多摩消防署にて辞令交付式が行われました。また、機動部隊の隊旗が松澤団長から寄贈され、機動部隊隊長の井田哲芳副団長に授与されました。

防災訓練への参加

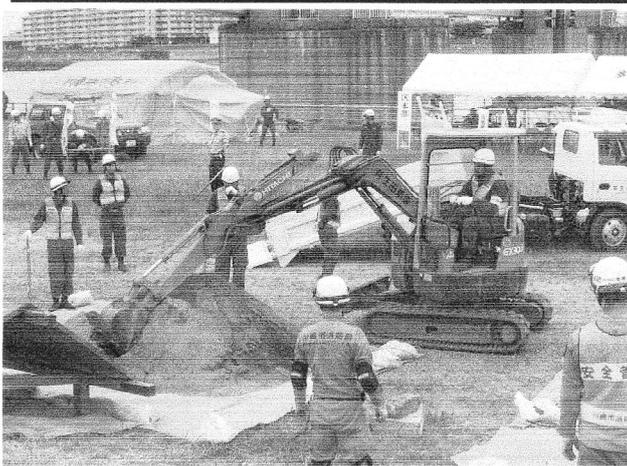
加、協力してまいりました。稲田分団中野島班では、町会と協力して、街中に設置されている器具ボックスの中の道具を使い、消火栓とつなげて実際に送水を体験する訓練を行いました。

多摩区内各地区で、町会や自治会などによる防災訓練が開催されました。多摩消防団では多摩消防署と共に、団員が積極的に参加

装備品の拡充

川崎市内の各消防団に対し、装備品の拡充が進められました。東日本大震災が発生した際の経験をふまえ、全団員を対象に無線通信機とヘッドライトが貸与されました。また、各班には多摩消防署などの通信が可能な、MCA無線が配備されました。通信試験も頻繁に行われ、新しい装備に慣れて使いこなすために、訓練が続けられています。これにより、非常時の通信連絡体制が大幅に強化されました。

水防訓練・水難救助訓練



6月5日、宿河原の二ヶ領せせらぎ館付近の多摩川河川敷において実施された訓練に、区関係局と共に消防団員約百名が参加しました。土のう作成などの他に、機動部隊が重機を使っての訓練も行なわれました。

「みんなが消防士」事業

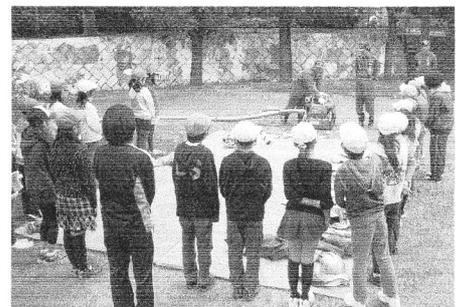
川崎市では小学校4年生を対象に、火の取り扱いの危険性や防火・防災の大切さを学んでもらうために「みんなが消防士」の授業を開催しています。多摩消防団では、各班が消防署員と共に地域の小学校に出向し、消防機材の説明や実演などを行い、火災に対する注意を呼びかけました。



参加した子供たちは、消防車両や機材を見て触れるなど消防を身近に体験できることを喜び、その操作方法などについて積極的に質問をしていました。火災のない安全な暮らしができるように、大人になってもこの「みんなが消防士」で学んだことを、いつまでも忘れずにいて欲しいと思います。

稲田分団 操法大会

七月二十九日、宮前区犬蔵の消防総合訓練場において、稲田分団操法大会が開催され、各班の小型ポンプ操法と小隊訓練が披露されました。訓練は夜間が多いため、なかなか体験できない日中の明るさや周囲の視線を受ける緊張のなか、各選手が訓練の成果を見せていました。一週間後に多摩大会を控え、各番手の審査担当者による模擬採点も行われました。終了後に渡された採点表を見て、各チームは自分達の操法演技を振り返り、さらなる操法技術の向上に励みました。



多摩消防団 消防大会

八月五日、明治大学生田キャンパス内において、第十三回多摩消防団消防大会が行なわれました。

各班から選抜された九隊が小型ポンプ操法の演技を行い、稲田分団宿河原・堰班が優勝、稲田分団中野島班が準優勝、稲田分団菅班が第三位となりました。



優勝 宿河原・堰班班長 木浪哲也

今年こそは絶対優勝！との思いで、猛暑の中、毎回厳しい夜間訓練を、選手・指導員・その他サポートにまわってくれた団員、班全体で取り組んでまいりました。

大会の朝は、班員に「勝ちたい気持ちが一番強い班が勝つと思うので気合いで頑張りましょう」と話して、大会にのぞみました。大会が終わり、優勝と言う結果が出て、自分達が取り組んできた事に自信を持ってました。選手達はもちろんですが、この優勝は班全体で勝ち取れた優勝だと思っております。

しかし、この結果に満足せず、来年・再来年と、同じ喜びをまた皆で味わえるように、さらに頑張っていきたいと思っております。

個人最優秀賞

指揮者 宿河原・堰班 門部正人

昨年、一番員で大会に出場し、今回で二回目の大会を経験して最優秀賞という素晴らしい賞を頂きありがとうございます。

宿河原・堰班は、毎年一・二年目の団員主体でチームを結成して、大会の雰囲気や、夜間訓練の雰囲気など、新入団員には初めての経験だらけです。私も昨年に経験した事を頼りに、選手として手本になれるように、そして指揮者として一年生には悔いの残らないよう、大会当日が一番良い状態で挑んでもらうことが出来る様にすることに、気を配りながらチーム作りを心がけました。今大会では、チーム優勝・最優秀賞と素晴らしい結果で終わる事が出来て、訓練中一生懸命指導してくださった班員・OBに感謝しています。

一番員 宿河原・堰班 内丸貴嗣

今年の四月に、消防団員として宿河原・堰班に入って、最初の月例で初めて小型ポンプ操法を見させていただきました。そして班長から選手の発表があり、自分は一番員に選ばれました。何もわからないうちに、大会にむけての夜間訓練が始まりました。何もわからないうちに、夜間訓練では、指導員や先輩方に分かりやすく指導してもらい、自信を持って操法大会にのぞむ事が出来ました。大会当日は、緊張して、自分ではよく覚えていませんが、最優秀一番員に選ばれてチームも優勝する事が出来て、班長をはじめ指導員や先輩方の期待に応えられて、本当に嬉しかったです。まだまだ何も分からないですが、大会までの訓練の経験をいかして、これから消防活動を頑張っていきたいと思っております。



二番員 中野島班 斉藤淳

入団二年目で臨んだ大会で、このような賞をいただくことができ、大変嬉しい限りです。訓練期間中は、思うように体が動かし、悔しい時もありました。しかし、そんな時にも先輩方が丁寧かつ適切な指導をしてくださり、また地域の方々の見守りもあり、今回の結果につながりました。本当にありがとうございます。これからも初心を忘れず精進してまいります。

三番員 登戸班 石井勲

一瞬の静寂の後、操法は始まります。この瞬間まで、登戸班は全員で訓練をしてきました。私は、頭で理解しつも思うように動かない体と格闘し、何度も天を仰いだことも。そんな自分最後まで指導してくれた仲間のために、この瞬間を全力でやりきる。そして大会は終わり、私は名誉ある賞を頂きました。でもこれは登戸班全員が頂いたものです。ここまで指導し支えてくれた仲間や、応援してくれた皆さんに感謝すると共に、頂いた賞に負けないよう、今後の活動につなげていきます。

